

ラーニングテクノロジー開発室

ニュースレター

WebCT活用授業レポート WebCTを通じて授業の資料を配付している活用例



今回は、理工学部の渡辺隆治先生にお話をうかがいます。

LT どのようにお使いになっているのでしょうか。

渡辺先生 基礎数学、微積分学1、微分積分、離散数学などの科目で使っています。基本的には、授業中に配布している資料をPDF形式にして載せるというシンプルな使い方をしてしています。單元ごとの演習問題や毎回の授業の練習問題を印刷して配っているのですが、欠席したとか、なくしてしまったとかで、以前の資料を欲しいという学生がいます。そのような学生にはWebCTからダウンロードするようにと指導しています。普通に授業に出ていけばほとんどWebCTを見ることはないと思いますが、中には興味のある学生がいて掲載された先々の問題を見ているという話も聞きます。

LT 欠席や資料紛失へのフォローだけでなく意欲のある学生への対応にもなっているようで、とても興味深いです。どれくらい先の問題まで載せているのですか。

渡辺先生 最初から、15回分の問題をすべて載せています。試験には、これらの問題や、よく似た問題を出しているのです。これらをしっかりと勉強しておくことは単位取得に関して大事なポイントとなります。配布資料の残部も持って教室に行っていますが、それまでは残部が無くなった場合は、在室予定

を知らせて研究室に取りに来させていました。WebCTに載せることで、これに関する手間が少なくなったことにはメリットを感じています。

また、ユーザとして使う立場になってみて感じたメリットもありますね。教員間の勉強会の資料をWebCTに載せているのですが、紙の資料を自宅に置いてきた場合でも、WebCTから見ることで困りません。便利だしバックアップとしても安心できると思いました。

LT 同じように学生も、資料がWebCTに載っていることに安心感があるでしょうね。今後はどのようなことをお考えでしょうか。

渡辺先生 通信教育課程のスクーリング授業では、WebCTに掲載した授業資料の要点だけでは宿題の演習問題が解けないという声があつて、類似問題の手書き解答をスキャンして載せました。テキスト授業では、通学制のように学生の様子を見ながら解説することはできませんが、ポイントを解説したビデオ教材を載せるなど、何か良い方法はないかと模索中です。

LT そうですね、通信教育課程では、ビデオによる補足教材が理解の促進に役に立ちそうですね。ありがとうございました。

お知らせ

◆ LTセミナー開催予定

LTセミナーの開催を以下の通り予定しています。詳細が決定次第、LTレターやウェブサイトにてご連絡いたします。また、今年度中にLMS講習会を、宇都宮、八王子の各キャンパスにおいて開催予定です。

- ・第72回LTセミナー「大学ポータルサイトの動向」
日時：11/1(火) 11:00～
会場：宇都宮キャンパス 本部棟2号館201教室
- ・第73回LTセミナー「LMS講習会@板橋」
日時：12/6(火) 10:00～
対象：板橋キャンパス教職員

◆ 大学ICT推進協議会 年次大会 参加者募集中
大学ICT推進協議会の年次大会が、12/7(水)～9(金)に福岡国際会議場にて開催されます。本学は会員機関です。詳細は、以下のサイトをご覧ください。

<http://axies.jp/ja/conf2011>

◆ 第71回LTセミナー 報告

9/13(火)に「LMS講習会@宇都宮」を開催しました。セミナーの詳細や資料はウェブサイトまたは、WebCTの「eラーニングの広場」をご覧ください。

◆ ICT利用による教育改善研究発表会 報告

私情協主催の平成23年度ICT利用による教育改善研究発表会が、8/10(水)に東京理科大学において開催されました。本学からは、古川文人助教が発表を行いました。

◆ 第10回情報科学技術フォーラム 報告

第10回情報科学技術フォーラム(FIT2011)が、9/7(水)～9(金)に函館大学および函館短期大学において開催されました。本学からは、佐々木茂准教授、古川文人助教がそれぞれ発表を行いました。

◆ 第111回CE研究会・第5回CLE研究会 報告

情報処理学会の第111回コンピュータと教育(CE)研究会と第5回教育学習支援情報システム(CLE)研究会の合同研究発表会が、10/14(金)～15(土)に帝京大学宇都宮キャンパスにおいて開催されました。1件の特別セッション発表、14件の一般発表があり、全国から60名の研究者が参加し、活発な議論が行われました。本学からは、渡辺博芳准教授が発表を行いました。

報告の詳細は、LT開発室のウェブサイトをご覧ください。

大学を越えて教材の相互利用ができます！ -私情協 教育コンテンツ相互利用システム-

担当授業の改善を考えるときに、学内外を問わず関連する内容の授業の教材や資料などを見てみたい、あるいは自分ではすぐに準備できないけど、こんな教材があれば授業で活用したいと感じたことはないでしょうか。今回は、国内大学の教職員間で教材などのコンテンツを相互利用するためのシステムを紹介します。

私立大学情報教育協会（私情協）では、大学の教職員が各自の作成した教育コンテンツを持ち寄り、相互利用できるようにして、教育水準の向上を狙う電子著作物相互利用事業を展開しています。この事業では、相互利用とそれに伴う著作権管理を効率よく実現するために、教育コンテンツ相互利用システムというインターネット上の情報システムを事業参加者に提供しています。本事業への参加は、国公立大学・短期大学が学校単位で参加する方法と、学校単位で参加していない大学・短大に所属する教職員が個人で参加する方法があります。本事業のウェブサイト (<http://sougo.juce.jp/>) によると、学校単位での参加校は現時点で66校です。本学は、この事業に大学として参加しており、本学の教職員は教育コンテンツ相互利用システムをユーザとして利用することができます。

教育コンテンツ相互利用システムのユーザは、(1)システム上で公開されているコンテンツ（著作物）を利用することと、(2)自分で作成したコンテンツをシステム上で公開することができます。

○公開されているコンテンツの利用

教育コンテンツ相互利用システムには、ユーザが作成したコンテンツが登録されており、これら全てをWeb上で検索・取得できます。本システムでは、

文系理系を問わず幅広い分野の教材や教育事例などをコンテンツの対象とし、それらの形式は、講義スライド、講義ノート、練習・演習問題、図表、シミュレーションソフト、プログラムソフト、実験・実習の映像など多様です。ユーザは、これらを電子ファイルとして取得し、コンテンツごとに定められた利用条件に従って授業などで利用できます。なお、コンテンツには無料のものと有料のものがあります。有料コンテンツについて、使用料金の支払いなどの事務処理は大学で行います。



○自作コンテンツの公開

自分で作成したコンテンツを電子ファイルとしてシステム上に登録し、他のユーザに向けて公開することができます。登録の際には、そのコンテンツの分野、概要、利用条件なども一緒に登録します。有料コンテンツとして登録する場合は、使用料の設定をします。有料コンテンツが教職員の個人著作物の場合、その使用料は大学を通じて著作者に支払われます。また、登録したコンテンツの利用履歴をシステム上で確認することができます。

前述の通り、本学教職員はこの教育コンテンツ相互利用システムを利用できます。是非ご活用ください。システムを使うためには、まずユーザ登録が必要です。ユーザ登録を希望の方は、以下のウェブサイトにある申込書に必要事項を記入の上、LT開発室までご連絡ください。

<http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/activity/crdb-sougo.html>

ご不明な点がございましたら、LT開発室までお問い合わせください。

■ LMS Tips

～ スマートビューで成績センタを便利に使う ～

LMSでは、課題などの提出物やテストの受験結果、その他の成績情報を「成績センタ」で管理します。今回は成績センタを見るときに役立つ機能を紹介いたします。

成績センタには、特定の条件に一致したカラムやユーザだけを表示するビューを定義することができます。「スマートビュー」という機能があります。例えば、テストや課題といった特定のカテゴリに属するカラムのみを表示したり、特定のユーザのみを表示したりするなど、成績センタに数多くの学生やカラムが存在するときに、見たい情報だけを表示することができます。一度設定したビューは保存しておくことができますので、あとで同じビューをすぐに見

ることもできます。ビューは複数作成することが可能です。また、定義したビューへのリンクをコースのメニューの一つとして表示することも可能です。

ビューを作成するときには、以下を基準とした条件を設定することができます。また、複数の基準を組み合わせた条件を設定することもできます。

- ・ 特定のカラム
- ・ カラムのカテゴリやステータス
- ・ 特定の学生
- ・ 特定のグループ

スマートビューの設定について詳しくは、以下のウェブサイトのマニュアルをご覧ください。

<http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/lms-ss/>

編集後記 今年は残暑も厳しくなく、秋の訪れが早かったですね。今は秋深しと言ったところでしょうか。後期授業の開始からLMSの先行活用が始まり、約20科目でご利用いただいております。来年度の本格運用に向け、自分自身もレベルアップをしなくてはと、“にらめっこ”の毎日です。前期はWebCTを活用した授業が191科目ありました。（渡部）



ラーニングテクノロジー開発室連絡先

宇都宮キャンパス本部棟2号館2F 203室

◇室長：渡辺 博芳

◇室員：高井 久美子, 古川 文人, 及川 芳恵, 渡部 里美, 新階 創

<http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/>

028-627-7243 (直通)

LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

